

県内景況情報

3月期

● 製造業

〈食料品〉

〔パン製造業〕

売上は若干前年比上昇したものの、5~6月別原材料（主に小麦粉）の値上げが予定されており、先行は不安である。

〔乳製造業〕

酪農家の減少による原材料不足が喫緊の課題である。

〈木材・木製品〉

〔木材製造業〕

各社、営業努力で売上を維持しているが、依然として資金繰りは厳しい状況が続いている。

〔木材製造業〕

年度末月につき、3月荷動きが悪い。生産メーカー操業時間変更等、芳しくない。

〈鉄鋼・金属〉

〔鋳物・鋳鉄〕

- ・前年同月比として、操業率悪い状況から脱却できていない。電気炉用の屑鉄の上昇が未だに続いている。好調の不変ではなく、良くない状態の不変。

〈一般機械〉

〔一般機械器具製造業〕

電気使用量は前年比106.4%（前々年比104.0%）であるが、売上高は前年比97%程度。

〈電機機器〉

〔電気機械器具製造業〕

- ・3月度売上高は、先月より増加。（前年同月比でも増加）。
- ・システム製品の年度末需要に対応できた。産業用ロボット関連は、計画どおりに推移している。来年度以降の更なる増産に期待している。

〔電気機械器具製造業〕

年度末ではあったが、大きな変化はなかったが、受注したものの納期が年々短くなっているような気がする。その為一時的に忙しくなってしまう。

● 非製造業

〈卸売業〉

〔紙製品卸売業〕

国内市況は古紙原料の高騰により一部原紙の値上げを発表。輸出市況は過去最高値を更新したが下旬に価格が急落し始めてきた。米価60ドル近くに下げ幅となり中国市場も混迷している様子。

〈小売業〉

〔鮮魚小売業〕

魚の入荷が安定せず、魚価の乱高下が続いている。天然の魚は天候要因が大きいものと諦めているが、収益性のところで苦しくなるのは痛いところだ。

〈商店街〉

〔久留米市〕

年明けに組合員2名の廃業がありました。現在でも空き店舗の状況、シティプラザ開業時の賑わいもやや陰りが見えている。自助努力が必要とみられる。

〈サービス業〉

〔貸しおしぼり業〕

少しだけ売上が前年と比べて良くなっているようである。プレミアムフライデーが導入されたが、期待していたほどの影響はなかったようである。

〈建設業〉

〔建築工事業〕

一般的に工場の稼働率は堅調に推移している。ただし、手持工事量にバラツキ（格差）が出ているが、受注単価は回復傾向である。

〈運送業〉

〔道路貨物運送業〕

3月も各組合員平均で売上・収益共に前年比増加となり前月に引き続き原油価格が前年同月に比べ下がったことにより燃料コストが下がり収益は前年比好転した。但し燃料単価がじりじりと上昇してきており今後注意が必要である。

福岡県の業種別D・I値の変化

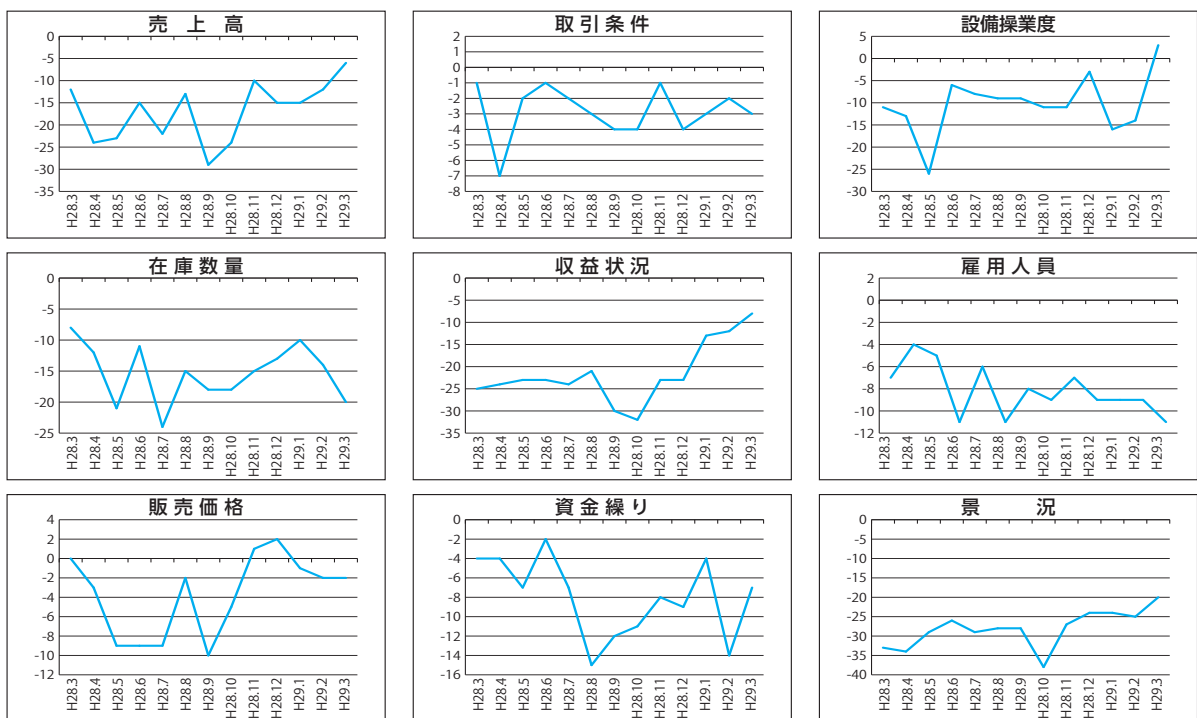
(福岡県中小企業団体中央会調査)

業種	項目	前年同月比								
		売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	景況
製造業	食料品	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	繊維・同製品	↓	→	→	→	↓	→	→	→	↓
	木材・木製品	↓	↓	→	→	↓	→	↓	→	↓
	印刷	↑	↓	→	↗	↑	→	↑	→	↓
	窯業・土石製品	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	鉄鋼・金属	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	一般機器	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	電気機器	↗	→	→	→	→	→	→	→	→
非製造業	卸売業	↓	→	→	→	↓	→	—	→	↓
	小売業	↓	→	→	→	↓	→	—	→	↓
	商店街	→	→	→	→	→	→	—	→	→
	サービス業	→	—	→	→	→	→	—	→	→
	建設業	→	—	→	→	→	→	—	→	→
	運輸業	↑	—	→	→	↗	→	—	→	→
D・I		-6	-20	-2	-3	-8	-7	3	-11	-20

↑ 増加・上昇・好転 → 不変 ↓ 減少・下落・悪化

D・Iとは・・・Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、企業の業況感や設備、雇用人員の過不足などの判断を指数化したものである。

●前月比D・Iの動きをみると、「売上高」、「収益状況」、「資金繰り」、「設備操業度」、「景況」の値が、改善している。



全国中小企業団体中央会では、ホームページ上で月次景況調査(情報連絡員全国集計)を公開しておりますので、ぜひご覧下さい。

全国中小企業団体中央会ホームページ <http://www.chuokai.or.jp/>